

# 令和3年度 第2回 つくばみらい市総合計画審議会

《令和4年2月18日（金）午前9時30分～ みらい平コミュニティセンター 1階》

## 【出席委員】

スポーツクラブみらい 代表 吉田 多一郎  
託児ボランティア ソレイユ 代表 菩提寺 宗子  
NPO法人 地球の緑を育てる会 代表 石村 章子  
つくばみらい市区長会 代表 松本 譲二  
つくばみらい市商工会 青年部 代表 佐藤 武志  
つくばみらい市 民生委員 児童委員 協議会 代表 野村 俊光  
つくばみらい市PTA連絡協議会 代表 染谷 武志  
つくばみらい市4Hクラブ 代表 坂田 健治  
市民公募委員 北島 重司  
市民公募委員 阪口 正輝  
市民公募委員 坂田 清  
市民公募委員 坂本 美羽  
市民公募委員 菅谷 翼  
市民公募委員 眞塩 敏幸  
株式会社 カスミ ビジネス変革本部 SDGs推進マネージャー 伊神 里美  
高砂熱学工業 株式会社 研究開発本部 副本部長 兼 新技術開発部長 山本 一郎  
筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授 大澤 義明  
筑波大学 システム情報系 社会工学域 准教授 藤井 さやか

## 1. 開会

事務局：

定刻となりましたので、令和3年度第2回つくばみらい市総合計画審議会を開会いたします。本日の出席委員は18名となっており、つくばみらい市総合計画審議会条例第6条第2項に規定されておりますとおり、2分の1以上のご出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

また、この会議につきましては、「つくばみらい市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、「公開」とさせていただきますので、ご了承下さい。

続きまして、事務局職員を紹介いたします。総合計画審議会の事務局は、市長公室 企画政策課が務めます。

事務局一同：

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：

本日の出席者は事務局のほかに、支援事業者である有限責任監査法人トーマツからも出席しております。

有限責任監査法人トーマツ一同：

よろしく願いいたします。

事務局：

ありがとうございます。それでは、会議に先立ちまして、つくばみらい市総合計画審議会会長 大澤 義明（おおさわ よしあき）様からご挨拶を賜りたいと思います。大澤会長よろしく願いいたします。

## 2. 会長あいさつ

大澤会長：

今日は、9時30分からということで、一番大切なのは皆様との情報共有というところですので、さっそく始めたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局：

ありがとうございました。それでは、つくばみらい市総合計画審議会第5条第3項の規定に基づき、これからの議事進行につきましては、大澤会長にお願いしたいと思います。

よろしく願いいたします。

## 3. 報告及び議題

### （1）基礎的調査について

会長：

それでは、議長を務めさせていただきます。次第3の報告及び議題について、事務局から説明をお願いします。

有限責任監査法人トーマツ：

それでは、説明をさせていただきます。有限責任監査法人トーマツの堀井と申します。着座にて説明をいたします。今回、かなりボリュームの多い基礎調査の結果をお配りしてしまっただけということがあります。また、今日のお時間のうちに、全ての資料のご説明をすることは難しいため、概要の部分のみご説明させて頂こうと思っております。また、お配りした資料は、今日の会議の中ですべてご理解いただくということや、読んでいただくことは想定しておりません。今回、基礎調査として取りまとめた内容を皆様に共有させていただくということと、今後、計画の中身を議論する際の参考資料として、次回以降もお持ちいただいて、逐次見ていただきながら、資料の内容についても逐次ご質問いただき、我々もご回答しながら使用していく。という使い方を想定しております。繰り返し

になりますが、文量が多く、大変申し訳ございませんが簡単にご説明をさせていただきます。

まず、今回、私が25分ほどお時間をいただいて、ご説明をさせていただきますけれども、皆様方にお配りした基礎調査の内容といたしましては、補足資料として調査の全体像を表したものをお配りしております。まずこちらをご覧ください。

まず、今回の基礎調査の目的といたしましては、つくばみらい市を取り巻く現状を整理・分析いたしまして、次の計画の施策の方向性を作り上げるために活用するというを目的とした調査です。具体的に、基礎的調査の資料3については、つくばみらい市を取り巻く環境や社会的変化といったことについて、定量的データを用いて、つくばみらい市は周りのまちと比べて、どういった状況なのかということ客観的に分析した資料です。資料の4から6などは、住民の方を中心としたアンケート調査をさせていただいた結果でございます。資料の7につきましては、昨年11月に皆様方にお集まりいただき、市民ワークショップを開催した結果となっております。また、こういった様々なデータを使いまして、庁内の職員や若手職員の方に参加していただき、課題や強み弱みを整理したSWOT分析となっております。資料の8としましては、施策の振り返りとなっております。こうした情報を使って、今後5年間の中期的な方向性として、どんなまちづくりをしていくのかという、方向性を検討する際の基礎資料とさせていただくということが主でございます。

今年度は、お配りしている左側の資料を作成しました。令和4年度に入りましたら、資料の右側にありますように、皆様のお声をより重点的に聞き取るということをやりたいと考えております。また、現状の施策を取り巻く環境を整理分析することと、新たな計画をつくり出すための基礎資料として使いますということをご説明しましたが、直接、紙面に反映させるということも考えております。お出ししているのは、あくまで現行の総合計画の紙面ですが、例えば、施策を取り巻く現況という項目がございます。ここには、調査した結果をダイレクトに入れたいと考えております。また、施策を取り巻く環境についても、中高生などからいただいた意見なども踏まえて改題を整理したいと考えております。このように、実際の紙面にもダイレクトに活用していくということを想定しております。

では、個別の資料についてご説明いたします。まず、資料の3をお出してください。資料の3、3-1、3-2、3-3がセットになっているものです。まず、資料3の目次をお開きください。この、資料3の目的としては、つくばみらい市を取り巻く社会環境の変化や、茨城県としての社会情勢の変化といったことを集めたものでございます。特に、1ページ目の左側、1番の社会環境分析の定量分析という項目では、主に、人口・産業・経済・都市基盤といった施策ごとに、国及び県の大きな動向等をまとめたものでございます。右側の11ページ以降の内容につきましては、人口・経済や労働・雇用といった、これも施策ごとに、客観的な定量データから、つくばみらい市のまちづくりの現状はどうなのかということを取り纏めた資料となっております。また、左側の1番の項目については、資料の3-1、右側については、資料の3-2、3-3に該当しているという関係になっております。一部ご説明をいたしますと、資料3の3ページを見ていただきますと、国・県の動態をまとめているサマリといたしまして、3ページでございます。やはり、国・県全体で

いいますと人口が減少しております、今後の見通しとしても更に人口減少する見通しとなっているとったことをまとめているのが3ページです。また、この詳細な情報をまとめたものが、資料の3-1という関係になっております。こちらは、今後、施策の検討をする際に、皆様の知りたい情報を政策分野や県などの動向から把握したいという場合に、ご活用いただきたいということで取りまとめております。

また、後段の部分の調査でございます。11ページをお開きください。資料の3-2と3-3の関係を表している資料です。資料のアプローチの方法を表しています。国からは様々な統計が出ております。11ページの上段に総務省の統計局と書かれています。これは、総務省の統計局のHPにe-Statというものがございます。また、国が出している地域経済分析システムであるRESASなどを活用いたしまして、全国約1,700の自治体の数値を集めまして、つくばみらい市がどういった状況なのかということ客観的なデータ面から表した資料が、資料3-2、3-3となっております。

特にご注目いただきたいのが、全国1,741自治体のなかで、つくばみらい市は何位に位置付けられるのかというといったことや、また、どれくらいの指標の位置づけなのかといったことを、実際の指標値、順位及び偏差値でまとめているものが、参考資料の3-3となっております。

こちらの11ページと資料の3-3を合わせてみていただきますと、理解しやすいかと思いますが、分類①については、茨城県内44自治体と比較したときの、それぞれの指標の、つくばみらい市の順位及び偏差値化して50を平均とした時にどれくらいの位置にいるのかということ客観化した資料です。分類①と順位・偏差値の①というものが対応しているのご理解いただければと思います。比較の切り口としては、申し上げました通り、分類①は県内44自治体の内のつくばみらい市の位置づけ。分類②については、県内の人口10万人以下の自治体である、つくばみらい市を含めた36自治体のうちの位置づけ。分類③については、つくばエクスプレス沿線の11自治体の中での比較分析をしたうえでの位置づけ。分類④については、近隣市と比較したときの位置づけ。分類⑤については、類似団体と申しまして、人口規模と産業構造から分類したものであり、総務省が出している自治体の分類でございます。人口構造と産業規模からみて、全国的に似ている自治体を抽出した、64自治体のうちの位置づけ。分類⑥については、人口3から7万人の自治体のうち、人口が増加している自治体のなかでの位置づけ。といったことをまとめたものが資料の3-2、3-3ということになっております。

一部、概要のみを簡単にご説明いたします。資料3の14ページをお開きください。人口・世帯や経済の状況を分析している資料ですが、特に、資料3及び3-2に表しているものについては、分類⑥として、人口増加している全国の団体のなかでのつくばみらい市の位置づけを表しています。特に、14ページを見ていただきますと、左上のレーダーチャートでポコッと出ているところが、つくばみらい市として特徴があるところだということを表しています。特に人口増減率の増加幅で見ても、つくばみらい市の増加幅は、人口増加団体の中でも特に高い増加幅にあるということが言えます。そういったことを取りまとめているのが、この資料3及び3-2になっているということです。資料の全てをご説明する時間がないため、こちらについては以上とさせていただきます。

続きまして、資料の4でございます。資料4に合わせて、資料4-1もご覧いただければと思います。資料4は市民意向調査を実施したものを取りまとめたものです。こちらの調査概要と全体的な調査の内容をお知らせしたいと思います。一枚めくって目次をご覧ください。目次の中で、こういった調査をしているかということをお示ししたいと思います。まず、調査概要がございまして、2番目に回答者の属性がございまして、次の3番のところを特にご説明させていただくと、大きく3つに分けて調査を実施しています。一つ目は、1番のところの項目にありますように、住みやすさや定住意向といった、まちづくり全般に関わるような住民の方の感じ方や思いといったものを調査したものです。2つ目については、2番にあります、つくばみらい市の取組の満足度・重要度という調査です。こちらは、各施策の取組に基づいて、どの程度満足しているのかといったことを段階的に聞いたり、施策の重要度を聞いたりしているものです。次に3番目といたしまして、各施策の個別の論点となりうる個別の質問を3以降に設定して質問しております。例えば、3番の土地利用の分野というところでは、商業地や工業地の在り方について皆様方の意見を聞いたり、分野8の地域コミュニティについては、地域の皆様が日常的にコミュニティに参加されているのかどうかといった実際の状況を聞いたりするような質問になっています。

具体的な調査票については59ページ以降の巻末に調査票がございまして、こちらも含めてご覧いただければと思います。簡単に調査のサマリをご説明いたします。1ページをお開きください。今回、9月末から10月中旬まで調査を行いました。3,000人の市民の方を対象に、郵送またはインターネットでの回答を行っていただくという方法で調査を実施しました。3,000の標本数の内、回収数が1,109ということで、約33.6%が回収できたということです。また、内数として、インターネットでの回答が3分の1ほどあったという状況です。続きまして回答者の属性についてです。2ページ目をお開きください。例えば、年代別でいいますと、29歳以下の方、30代の方、40代の方、50代の方など、非常にバランスよくご回答いただいているという状況です。特に、今回インターネットで調査したということもございましたので、若い方の回答が非常に多いということも特徴としてございました。ほかの団体ですと、どうしても若い方の回答がなかなかされていないという課題がありましたが、そのところは課題を克服できたのではないかと考えています。

続いて、先ほど3つの柱で調査を実施したというお話をしましたが、その1つ目である市のまちづくり全体に対しての調査結果を簡単にご説明させていただきます。10ページをお開きください。こちらは、市の愛着度を調査したものです。とても愛着があるとおっしゃっている方が23.0%、どちらかと言えば愛着があると回答した方が56.8%ということで、約8割の方がつくばみらい市に対して肯定的な意見を持っているという状況です。更にページをおめくり頂いて、12、13ページです。こちらは、つくばみらい市に今後も住み続けたいかという定住意向に関する問いです。こちら、住み続けたいが47.2%、当分住み続けたいが28.6%ということで、約75%の方に肯定的に答えていただいているという状況です。また、それぞれの質問に対して、全体集計の円グラフと、それを後述するページに性別、年齢別、通勤通学別、地域等々といった属性分析結果というものも掲載しております。このように、全ての質問に対してまとめておりますので、今

後ご議論いただくときにご覧いただきたいと思います。

続きまして、資料の5をお開きください。資料5は中高生アンケートの結果についてです。こちら、目次をご覧くださいと、今の市民アンケートと対比させながら質問設計をさせていただいております。こちらの対象は、つくばみらい市に通勤する中高生であり、市外在住者も含んでおります。調査対象としては、1, 522名にご回答いただいたということです。4ページにございますように、学校としては市内中学校4校と伊奈高校の全5校に対して調査をいたしました。このなかで、特に皆様にご報告したい項目としまして、12ページをお開きください。つくばみらい市に住んでいる人に絞った話ですが、今後市に住み続けたいかという部分については、今の場所に住み続けたい又は市内のほかの場所に住み続けたいといった、この地域にずっと住んでいたいという方が、約25%ですので、4分の1ほどという状況です。よくわからないという回答が多いことはありますが、いずれ市外に引っ越したいという意向もありますので、愛着度の醸成ということは今後の大きな課題になるのではないかと考えています。もう一点として、中高生から見た、まちの施策への考え方についてご紹介したいと思います。22ページをお開きください。今後、つくばみらい市に重点的に取り組んでいただきたいこととして、中高生からいただいた回答のうち、特にこれを頑張りたいというものを上から順番に並べています。商業地や商業施設の関係であるとか、駅周辺の開発、道路整備、公園整備といった、中高生が生活するうえで、まさにこれが欲しいなというものが上位に来ている状況です。こういった部分も意識したうえで、今後のまちづくりについても検討していくべきかと考えています。そのほかの項目についても、またご覧いただければと思います。

続きまして、資料の6をお開きください。こちらは、近隣自治体アンケートということで、つくばみらい市と近隣自治体とで共同実施したアンケートです。実施概要が2ページにございます。つくばみらい市と近隣自治体に対するイメージや、市民ニーズの違いなどを把握して施策に反映することを目的に実施しました。常総・守谷・取手・坂東市に依頼をさせていただき、5市連携で実施したアンケートの結果です。つくばみらい市が中心で実施したということなので、どうしても回答の偏りがあるということはあると思いますが、このように、他市から見たつくばみらい市を、どのように思っているのかといったことも、今後の施策に反映していきたいと考えております。

続きまして、資料の7をお開き下さい。こちらは、「みんなで話そうみらいの未来 市民ワークショップ」の結果です。こちら、3ページ目の実施概要をお開きください。開催概要として、日時は11月7日の日曜日に、午前の部と午後の部に分けて、合計で49名の市民の方にお集まりいただきました。その中で、どのような議論をしたかと言いますと、まず、つくばみらい市の現状を簡単にご説明させていただきながら、アンケートでは聞き取れない、主に皆様が生活している中での生活実感上の課題や問題にはどんなものがありますかといったことをお聞きしました。さらに、問題・課題を各グループで出していただいた後に、各政策の大きな分野に分かれて、個別の分野を深掘りしていただくということで、各分野に分かれていただく代表の方を選出し、踏み込んだ議論をしていただきました。いろいろな課題が出ましたが、その中で重点的に解決すべき課題は何かという議論をいただいたということです。4ページにございますように、第1回目として11月7日

に開催しましたが、次回も第2回といたしまして、令和4年の夏ごろに第2回目を開催したいと考えています。第1回目は、生活上の課題や問題を出していただきましたが、第2回目には、市としても政策・施策の方向性が出てきていると思いますので、その中で、具体的な取り組みを磨き上げたり、行政と市民との役割をどうするかといったといったことを議論いただいたりということで、第2回目を開催したいと考えています。

また、それぞれの分野で発表していただいた内容を11ページ以降に掲載しております。分野としては、子育て教育の分野、健康福祉の分野、産業文化の分野、生活環境都市基盤の分野ということで、4つの分科会のように分かれていただいて深いご議論をいただいたということです。更に、最後に参加者アンケートをつけておりますが、アンケートの結果からも、「楽しくご参加いただいた」というような肯定的なご意見をいただいた方が非常に多く、また、「考えたアイディアも非常に出すことが出来た」という肯定的な意見もいただきました。こうしたポジティブな皆様方のお声をいただきまして、今後の運営の参考となったというところです。

あと2つの資料を説明させていただきます。

続いて、参考資料についてです。こちらは、これまで私がお説明した基礎調査の各種調査の内容を踏まえまして、SWOT分析として、庁内職員の方、特に若手職員の方に考えていただきながら整理した結果です。どういったことをしたかという、3ページにありますように、つくばみらい市の強み、弱みや、どういった追い風となるような機会があるのか、どういった阻害要因が発生しうるのかということを取り纏めて整理し、意見を交わしてまとめたものが5ページ以降ということになっております。このように、市職員としても、基礎調査の内容を分析しまして整理をしているという状況です。こちら、情報を共有するための資料としてお配りしているという次第です。このように、庁内でもきちんと整理・分析をしまして、次の計画に反映していきたいと考えています。

最後に資料9の今後のスケジュールについてです。特に皆様方の参加される審議会としては、昨年夏に一回目を開催させていただき、2月18日に2回目の丸がついている部分です。更に、今後は6月頃に開催いたしまして、そこでは、基本構想の方向性であるとか、基本計画の骨子をお示し、どういう紙面でいくのか、どういう施策で次の計画を進めていくのかということをお示しできればと考えています。そのほか、4回目、5回目、6回目、7回目のおおよそのスケジュールも入れておりますので、ご覧いただければと思います。更に先ほどご説明いたしました、2番の市民参画による計画策定という部分については、2回目のワークショップといたしまして夏ごろに開催したいと考えております。

ボリュームのある資料を駆け足でご説明してしまいましたが、簡単ではありますが、調査の結果は異常です。

会長：

ありがとうございます。膨大な資料ですので、理解することは非常に難しいかと思えます。一応、バックデータというかマクロデータを整理していただいたということです。トーマツ様でお持ちのデータを活用していただいたのではないかと思いますので、そういったご説明です。このあと、グループに分かれて意見交換を行います。その前に、確認や

方向性など、大雑把な事でも構いませんので、皆様のご意見をいただければと思います。

A委員：

大変膨大なデータで追い込んでいくということでご説明いただきましたが、これだけ多くのデータですと迷子になりかねないので、素朴な質問をします。

1つは、現況分析としてSWOTで強み弱みなどを追い込んでいくとすると、強みを伸ばし弱みを克服するという部分があるかと思います。ややもすると、総花的で平均的になりかねないという部分があるかと思います。

2つ目の要素として、皆さんの意見ということを出ているわけですが、単純に言うと、声の大きな方に引っ張られるということや、あれもこれもという場合に、利害調整の部分が出てくるかと思います。このあたりが、声をベースにすると出てくるかと思います。

3つ目として、現況分析と声の部分をどのように調整していくのかということ。そういった部分について、もし方向性や、このように考えているということがあれば教えていただきたいと思います。以上です。

事務局：

ありがとうございます。只今のご意見ですが、現在、課題の整理などを進めています。市が考える、市のここが弱いのではないかと考えている部分と、市民の皆様が求めている部分が必ずしも一致しているということにはならないと思います。その交通整理をこれからやっていこうと思っています。A委員のご意見にあった、声の大きな意見が尊重されるというようなことが出来ればないように、ただし、その大きい意見が市として必要ということであれば最優先でやっていくということのうえで、様々な調査結果を分析しながら、施策として立案していくもの、重点的に進めていく方が良いもの、そうした施策を考えていこうと考えています。

只今、状況の整理、検討資料の整理を行っておりますので、今後、来年度の策定に向けて、審議会の皆様のご意見をいただきながら、その辺りは決定していきたいと考えています。ありがとうございます。

会長：

ありがとうございます。ご指摘の通り、平均的というのは避けたいと考えています。ぜひ、今日、皆様とご協議いただきながら、個性や地域性のあるまちづくりを目指していきたいと思っています。加えて、様々な利害調整等が出てきますが、その中でもこういったデータは説得力を持ちますし、皆様のご意見も当然反映していきたいと思いますので、是非、積極的にご発言いただければと思います。

ほかにはいかがでしょうか。

B委員：

ありがとうございます。本当に膨大なデータを丁寧に確認いただいている、大変な作業だったのではないかと感じました。ただ、これから具体的に施策を検討していく中で、



もう少し、市民の顔が見たいと思いました。つくばみらい市の中にどのような方がお住まいなのかということが、少し、今日のところでは浮かび上がっていないのではないかと思います。

私の直感的に、データも見つつですが、つくばみらい市の市民の皆様は、3層か4層くらいあるのではないかと思います。代々つくばみらい市に3世代でお住まいの方、ご主人の世帯で入居して熟年になってきておりお子様がつくばみらい市に戻ってきてくれるのかどうかという世代の方、駅前の開発が進み都内への通勤者を含む新しく入ってこられた方などがいらっしゃると思います。そういった方々には、同じ30代の人同士でも、まったく異なるバックグラウンドがあり、必要なニーズが違っていたりします。高齢の方でも、代々、この地域にお住まいで親族も近隣にお住まいの方と、核家族で入っていらっしゃる高齢者の方では全くニーズが違うと思います。そういったところの声が、今のところでは見えないというところが気になっています。今日のせっかくのテーブルでの議論の中では、皆さんが市民の代表としていらっしゃる下さっているのも、そのあたりの顔をどんどん出していただくのが、今日は良いのかと思いました。データの平均的な特徴ではなく、ご自身の実感からの意見交換が出来ればよいのではないかと思います。

もう一つは、地域の違いのところをもう少しセンシティブに見ていく必要があるのではないかと考えています。格差という言い方はしたくないのですが、施設の充実度や生活パターンが相当違う地域が狭いなかであって、それぞれの地域で必要としていらっしゃることも違うのではないかと思います。そこは、地域を代表して皆さんのご意見をここで聞きながら、市全体で見えてくることと、地域地域でのニーズというところも確認できると良いのではないかと思います。

会長：

ありがとうございます。それでは事務局お願いします。

事務局：

ご意見ありがとうございます。確かに、例えば、みらい平地区は、日に日に人口が増加している地域であり、それ以外の地域では人口減少となっています。そうしますと、やはり年齢構造もそれぞれ違ってきておまして、地域が抱える課題も違うということは認識しております。ただし、今回のアンケートの内容をもう少し深掘りしていけば、委員のおっしゃる顔も見えてくるのではないかと感じておりますので、アンケートの中で、もしかしたらそこまで深掘りできない部分もあるかもしれませんが、調査結果をさらに確認したうえで、今おっしゃられたご意見についても対応していけたらと考えています。ありがとうございます。

B委員：

その深掘りの手がかりを、今日のディスカッションでも得られると良いのかなと感じました。

会長：

ありがとうございます。ほかにありましたらお願いします。

C委員：

たくさんの資料を纏めていただき、何かしらを理解するときの手がかりとなって、すごく良いと思いました。膨大な資料を紐づけるときに、例えば資料1の11ページは、資料3-2と3-3にデータが入っているといった説明があったので追いかけられましたが、紐づいているデータを、何を根拠に見ていったらよいのかを、参照先は資料いくつというような読み方の手がかりとなるものがあれば教えていただきたいです。また、先ほどご発言いただいた委員の方と全く一緒の意見があります。ご説明いただいた内容の中でも、地域別というところで、三世代や新しく越してきた方という特徴が地域別に大きく出るところもあるかと思いますが、満足度のところで、みらい平と小絹地区では数値が大きく開いているということがあります。これから行政の計画を策定していくなかで、そういった課題はすごく大きいと感じました。こういう機会に、そういった地域差が出ないような方法についての意見が出ると良いと感じました。

会長：

ありがとうございます。事務局からお願いします。

有限責任監査法人トーマツ：

トーマツの石川と申します。ご指摘ありがとうございます。今回お配りした資料が大変多くなっておりまして、資料番号にハイフンを振ってある資料が、主だった資料と紐づいた資料となっております。ご指摘の内容からすると、資料3のなかのどの章が、3-1や3-2なのかというお話かと思っておりますので、そこにつきましては、事務局側で整理しまして、改めて共有できればと思っております。

事務局：

それでは、その後のご質問についてです。みらい平地区と絹の台地区というのは、市内でも人口が増えている地域だという認識が市役所内でありました。しかし、まち・ひと・しごと地方創生総合戦略を策定した際に、絹の台地区はそうでもないということで、絹の台地区も、他の地区と同様に、徐々に人口減少の傾向がみられるということを感じ始めておりました。来年度には、ワークショップ、市民インタビューや職員インタビューもありますので、そういった部分は、さらに深掘りし、視野を広げながらお話を伺いたいと感じております。調査しただけでは足りない部分もありますので、そういった部分は、来年度の市民意見のヒアリングの部分で聞いたうえで、また、審議会の委員の皆様も、各地区から出いただいている方がいらっしゃいますので、そういったご意見を伺えればと思っております。以上でございます。

会長：

よろしいでしょうか。

C委員：

はい。

会長：

資料に関しては、これ以上増やさず簡素化した方が良いかと思えます。良い情報も多すぎると死ぬことになりますので、シンプルにしていく方向で、是非お願いしたいと思えます。ほかにございますでしょうか。

時間も押しておりますので、ここで質疑を終了し、意見交換に移りたいと思えます。事務局からお願いします。

事務局：

議事の途中ですが、ここで休憩とさせていただきます。次の意見交換まで10分間の休憩とさせていただきます。10時40分再開といたしますので、再度お集まりいただけますようお願いいたします。

会長：

それでは、10時40分まで休憩といたしますので、よろしくお願いいたします。

#### 【10分間休憩】

会長：

それでは再開します。議事3（2）現行計画の状況について事務局お願いします。

事務局：

それでは、私の方から意見交換の進め方をご説明申し上げます。

まず資料としましては、主に参考にするものとして、資料8の施策検証シート、左上にディスカッションと記載された資料、総合計画冊子、総合計画概要版でございます。まず資料8につきましては、現行の前期基本計画の体系の項の単位で26のシートに市の現在の取組みの状況を各課の自己評価を含めて整理したものでございます。一番上のA4版の一覧に、総合計画冊子の該当するページやシートごとの主な分野を記載してございます。

各シートの主な構成としまして、1施策の基本情報では右上に施策の全体評価をA～Dの4段階で示し、2は施策全体の総括コメント、3の①は各取組みとその結果・成果、②は指標の達成状況を記載してございます。

次に、左上にディスカッションと記載された資料は、意見交換をするにあたって、高砂熱学工業の山本様が、資料8の情報を抜粋して作成いただいたものでございます。各シートの内容が全体的に把握しやすい資料となっており、今回、会議資料としてご提供いただき、皆様へも配布させていただきました。山本様、ありがとうございます。

では、意見交換の進め方ですが、3章で構成されている基本計画につきまして、1章、2章、3章の順に各15分ずつ意見交換を行っていただきます。

時間につきましては、前のスクリーンに15分間を表示させていただき、終了3分前と終了を市職員から各タイミングでお伝えさせていただきます。

意見交換の進行は、委員の皆様の中からファシリテータ役を依頼させていただいておりまして、1班はD委員、2班はE委員、3班はF委員をお願いしております。

今回の審議会後の予定としまして、施策の体系づくりを予定しておりまして、今回の意見交換では、どの施策を充実させて欲しい、現在の取組みをどのように変えた方が良いなど、体系づくりに向けた施策の方向性についての意見を中心にいただければと考えております。事務局へのご質問や発言できなかった意見につきましては、審議会後にメールでもお受けします。

また、具体的な取組みに関しましては、今後予定している立案段階でと考えております。

なお、各班からいただいたご意見につきましては、後日整理して共有させていただきます。時間が限られておりますので、大変恐縮ですが、1回の発言は短めとさせていただき、複数の分野について、できるだけ多くのご意見をいただければと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。各章の開始のタイミングは事務局から合図を出させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、概要版の資料で1章からになります。市民目線に立った質の高いまちをつくるということで、都市づくり、自然環境、産業、道路、公共交通などといったところが分野の主なテーマとなっております。では、意見交換をよろしくお願いいたします。

#### 【1章について班ごとに意見交換】

事務局：

お時間になりました、ありがとうございます。

続きまして、第2章の分野に進みます。第2章は、市民が豊かな暮らしが描ける場をつくるということで、内容としては、子育て、教育、健康づくり、医療、スポーツ、防災、福祉といった内容が主になっています。それでは、2章についての意見交換をお願いします。

#### 【2章について班ごとに意見交換】

事務局：

続いて3章の分野は人権、男女共同参画、地域コミュニティ、地域交流、国際交流といった市民とのつながりを意識したもの、市からの情報発信などがございます。行政運営などもこの分野ですので、よろしくお願いいたします。

### 【3章について班ごとに意見交換】

事務局：

まだまだ意見はあるかと思いますが、意見交換はこれで終了とさせていただきます。皆様、ありがとうございました。

会長から、各班のファシリテータを務めていただいた方から、班ごとの意見をまとめてご発言いただければということでしたので、1班のD委員からお願いいたします。

1班 D委員：

本当に有意義なご意見をいただきました。皆さん、原稿を頭の中に用意していただいているような感じでスムーズに進めることが出来ました。ありがとうございました。

これをきっかけに、次の計画へ反映していただければと思います。今日は本当にありがとうございました。

2班 E委員：

2班も各章ごとにテーマを絞って皆さんに色々な意見をいただきました。市だけではなく、私たちも協働して活動することが大事だという話が出ました。今回の意見も、後ほど事務局でまとめていただけると思うので、今後の活動に活かしていただければと思います。ありがとうございました。

3班 F委員：

一言にまとめることは難しいですが、特に印象に残ったことをお話しします。市内の移動手段をどうするのかということが、色々なところで話にでました。また、市内には色々な良い場所や面白いこと、イベントなどがあるのに、発信力がないために知らないということになっている。これは、ポテンシャルがあるのにもったいないという話が出ました。

今、地域のつながりが弱くなってしまっていることが、これからの大きな課題になりそうです。ただし、先ほども話していましたが、やりたいと思っている方はたくさんいるので、そこをつなぐきっかけとなるような、ちょっとした流れなども総合計画の中で考えられると良いのかと思いました。

市民目線と少し違うところですが、産業の点では、高いポテンシャルがあるのに、それを受け入れられるだけの準備が出来ていないところが非常にもったいないということでした。

もったいないという意見が、非常にたくさん出ているので、これから何かしていけたらと思っています。以上です。

事務局：

各班の皆様ありがとうございました。お陰様で、非常に有効な意見交換が出来ました。以上で意見交換は終了となりますので、会長に進行をお願いいたします。

会長：

皆様お疲れ様でした。

班の外から見ていると、意見交換が活発で勢いがありました。前半はデータの報告ばかりでどうかと思っていましたが、後半は皆さんの意見を聞きながら、これを今後どのようにフィードバックさせていくかが課題だと感じました。次回以降もこういう会議は、事務局と相談しながら、マクロデータも大事ですが、なるべく皆さんのご意見を聞いて、計画に反映していけたらと思います。

マクロとミクロというとは少し違いますが、データと皆さんの意見の両方から計画を作っていけたらと思いますので、引き続きご協力をお願いいたします。

#### 4. その他

会長：

その他について、事務局からお願いします。

事務局：

その他としまして、今後のスケジュールについてご報告させていただきます。資料9をご覧ください。

次回の第3回審議会は、5～6月頃の開催を予定しております。開催の日程は、後日お示しさせていただきます。審議内容としましては、計画書冊子の39ページ以降に記載されております基本構想の見直しについての検討、基本計画骨子として施策体系や紙面レイアウトについてご意見をいただきたいと考えております。

また、本日の意見交換で時間の都合で話せなかった内容などもあるかと思っておりますので、後ほどメールで事務局あてにご意見やご質問をお送りいただければと思います。資料もたくさんありましたので、聞きたいけれど聞けなかったというようなことについても、メールでお寄せいただければ、事務局で整理して回答させていただきますのでよろしく願いいたします。

会議資料は、本日配布したチューブファイルに綴じていただき、今後の審議の参考としていただけますと幸いです。

説明は以上でございます。

事務局：

以上を持ちまして、令和3年度 第2回 つくばみらい市総合計画審議会を閉じさせていただきます。皆様には、お忙しいところお時間をいただきありがとうございました。